

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
分担研究報告書

意思決定支援上の倫理的課題の検討

研究分担者 稲葉 一人 中京大学法務総合教育研究機構 教授

**研究要旨** 法的・倫理的観点から関連ガイドライン等から検討した。並行して実施されている厚生労働省平成 30 年 6 月の「認知症の人の日常生活と社会生活の意思決定支援のガイドライン」は、高齢者・がん患者にも適応されるが、それをチェックリストとして置き換えたところ、重なりあう関係にあり、十分に参考になる。もっとも、意思決定の質という質的な点に重点を置いたガイドラインであるので、量的ないしチェックリストというものが必要となる。

#### A．研究目的

診療プログラムを開発する前提として、高齢者がん患者の意思決定支援が必要となる（意思決定能力がない場合がある）ところ、関連する領域での厚生労働省平成 30 年 6 月の「認知症の人の日常生活と社会生活の意思決定支援のガイドライン」は高齢者・がん患者にも適応されるが、そこでの議論は、重なりあう関係にあるので、その関係性等を調べた。

#### B．研究方法

関連するガイドラインの評価をし、更に、高齢者がん患者への適応について、研究者間で検討した。

（倫理面への配慮）

個人情報扱うものではなく、公刊物を中心とした研究である。

#### C．研究結果

前記認知症の人の日常生活・社会生活の意思決定支援のガイドラインを加工してチェックリストとした。

#### D．考察

約 100 項目のチェックリスト化をした結果、高齢者がん患者についても重畳する点が多くあり、今後のチェックリスト等の作成に寄与する。

#### E．結論

高齢がん患者に対する簡便で効果的な診療プログラムや、診療周辺の意思決定支援のための援助キットとして、一定の示唆を与える。

#### F．健康危険情報

特記することはない。

#### G．研究発表

論文発表  
該当なし。

学会発表

1. 日本臨床倫理学会シンポジウム 3（2019 年 3 月 30 日）

#### H．知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得  
なし。
2. 実用新案登録  
なし。
3. その他  
特記すべきことはない。

